THE WOMAN'S WEEKLY

第貳卷　第四十三號

毎週金曜日發行

婦人週報

大正五年十月二十日發行

大正四年十一月四日第三種郵便物認可

定價一部四錢五厘

郵送料五厘

本號目次

□婦人の政談傍聽禁止につき丸山保安部長と語る……小橋三四子
□時事週評
□中流婦人の内職……法學博士　山脇玄
□繪を見る人の爲めに……高村光太郎
□文展の一人ぼっち……近藤浩一路
□物語のやうな生涯……民子
□短歌「理智」……安中花子
□丁子さまに答ふ……民子
□いかもの食ひ……澤田斬雲
□忘られ易い嬰兒の衛生……藤井かう子
□噂
□入選した赤ん坊と母親の養生法……清子
□秋の馳走……櫻井ちか子
□オハナシ「忘れな草」……恭子
□古池のほとり（下）……廣田花崖
□時事
編輯室より

婦人週報社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

粧けた
氣持は
爽かで

一瓶ごとに
美人となる

本當に
色艶が
よくなる

品位ある淑女の
瀟洒したお化粧振は
不思議に素顔の美を増す

定價（大）四十錢（小）二十錢
送料（内地各四錢 臺鮮支八錢）

オキシナー

朝夕缺さず御愛用の賜!!!

之迄有觸れた化粧品と異つて直接に化粧品の原産地たる歐米に渡り十餘年の實地研究の結果、遂に發明した白美衛生の兩効力を有する理想的の御化粧素でございます。

發賣元
東京市 オキシナー商會 赤坂溜池
（電話新橋三六二六）（振替東京三四〇〇九）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人の政談傍聴禁止につき

要路の人々の意見を叩く

丸山保安部長と記者

本誌前號の社説「禁止されて居る婦人の政談傍聴」につき、要路の人々の意見を叩かんものと、先づ警視廳に丸山保安部長をお訪ねしました。部長は昨今私娼撲滅に熱誠を注いで居らるゝ所から、全然婦人問題等に耳をも藉さぬ官僚風の人々と、自ら色彩を異にせらるゝやうに感じたので、此の問題を如何に解釋せらるゝか、併せて其の禁止を解かんには、どんな鍵を用ゐたらよいかの見當を附けんが爲めでありました。以下は部長と記者との對話であります。

＊＊

部長「どうでせうな、一般の婦人仲間に實際政談演説の傍聴を自由にして貰ひたいと考へて居る人が、そんな澤山ありませうか」

記者「いえ、一般の婦人は政談演説の傍聴を禁止されて居る事さへも、恐らく知らないでせうと存じます。然し學校では女學生が兎角時事に迂いと云つて、三面や小説は禁止しても、二面の記事を讀む事を奬勵されたり、議會の傍聴を許してあつたり、筆の上では女でも自由に政事を論ずる事が出來て、一旦政談演説となると、隣りにあつても聞きに行かれないと云ふ事が、大層矛盾でもあり、不公平でもあり、心ある婦人にとつては不便でもございますし、また實際自分共の生活して居る社會の大事な機關である政治の事は、務めても知りたいとも存じますから」

＊＊

部長「議會の傍聴を許して政談演説の傍聴を禁止するのは、いかにも矛盾ですな。元來治安警察法は古く出來たもので、外にも久しく叫ばれて居る改正の條項がありますから、當局者の頭に婦人の政談傍聽の禁止されて居る事が、不當と考へらるれば、きつと改正さるゝでせう。然し元來法令は多數の人の進歩を程度として廣く公益を計るものですから、公平な事が必しも直ちに行はるゝとは限りませぬ。例へば自由選擧の如きも、理想としてはさうなるべきであります。或る一定の税を納めて居る者のみが、選擧權を握るといふ現狀は不公平な話で、實際金があつても、政治等には盲目な人もあり、金がなくても、頭腦の進んだ人がいくらもあるといふ風であります。外國等には、既に自由選擧が行はれ、近頃は婦人迄が選擧權を握るといふ有樣になつて來たが我が國全體の社會から見て、自由選擧は未だ時機早しと見れば許されないのであります。婦人の政談傍聴等もたとへ之れを許すことが理想であり、公平であつても、時機が未だ到らず、また之れを許したが爲めに却つて女が家を外にして、政治に熱中し、權利義務斗りを叫ぶやうな弊害が起るとしたら寧ろ許さない方が社會全般の幸福から見てもよいと思ひます。」

記者「從來多少政治運動等をした人々が、虚名を賣る爲めに、空騷ぎをしたので、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人が政治上の權利を得るといふ聲に、私共でも一種の嫌味を覺えますから、さう御考へになるのも御尤と存じますが、然し私はこれからの婦人は子供を育てる上にも、もつと政治思想を持つことが大切と存じます。高等の教育を受けた婦人も、尚ほ丁稚や車夫が常識となつて居る政治上の知識さへも持たないので、家庭に在つても子供の話し相手にさへ、充分になれぬと云ふ始末でございます。なほ近い實例としては、國定教科書問題が議せらるゝと聞いて、教育の事故、知つて置き度いと參りましたが、多少政治に關係があるからと傍聽を禁止された事がありましたが、日常の生活にも教育上にも洽く關係のあるべき政治上の事には、婦人として、是非聞いて置きたい事もあるので、政談を傍聽する事が、單に面白い事とか、男もするから女もしたいといふやうな物羨みの心からでもない事を御承知願ひたいのです。また婦人に外の興味を持たせ、社會的の運動をさせる事が、必ずしも女を粗暴にさせたり、驕慢にさせたりは致さないと存じます。却つて今日家庭にある婦人が夫のお蔭を蒙つて、小成に安んじたり、利己的になつたり、外に働らく者に對して同情がなく、果てはヒステリーになつたりするのは、孰れも社會を知らず、家庭以外に働らいた事がないから起る事と、始終考へて居ります。私共の經驗としても、廣く働らけば働らく程、世間をも見、自分の力をも知つて、自然謙遜になつて行くやうに覺えますから、一般婦人が家を外にして箸にも棒にもかゝらぬ者となるだらうとの事は、或は杞憂に過ぎぬかも知れませぬ。」

部長「まあ婦人に對する考へは、多くは因襲的でせうな。昨日も友人の家に不幸があつたので、通夜に行くと、其の席で頻りに婦人問題を論じて居る二人があるので、默つて聞いて居ると、一人は急進な考へを持つて居り、一人は極端に保守な婦人觀であるので、徹宵議論を鬪して居つたやうでありますが、ここにも今日はかういふ議論が起る樣になつたですな」

＊＊

記者「就ては靜かにこの治安警察法第五條の改正を計るやうにするには、どういふ方法を取つたらよいか、御指導を願ひ度いものでございます。」

二

部長「治安警察法は内務省で制定さるゝので、其の局に當る人の頭が動けば行はれる事ですから、精々さういふ要求を承知して居て貰ふのですな。」

記者「有難うございます。いくら其の時機に到達して居つても、要求しないものを與へる筈はありますまいから、出來る丈け私共の要求を穩やかに其の筋の方々に述べて見たいものでございます。」

＊＊

かう云つて記者は辭し去りましたが、心の一方には當然の要求を、多くの婦人に代つて此處に來て述ぶるに何の憚かる事があらうぞと考へながらも、何となく這入るべからざる所に這入つたやうな一種の不快を覺ゆるのでありました。そして嚴めしい警視廳の建物は、幾年か前にも婦人が治安警察法第五條の改正を迫り花々しい運動をせんが爲めに、この門を潜つたが、それは單に虚名を賣る物好きの人々に過ぎなかつた。あなたはさういふ轍を踏まぬやうにと警告する如く見えました。何事をも出來る丈け穩やかに運んで行きたいといふのは、私共の希願でございます。（三四子）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

中流婦人の内職

女學校卒業の諸孃に勸告す

法學博士　山脇玄

□悲慘の境遇と其經濟力

近來新聞、雜誌に頻々現はるゝ家庭内の悲慘事を讀む毎に、痛切に感じらるゝのは、女子に經濟上獨立する丈けの素養なき事である。もし女子にいざと云へばわが一身を支へ得るの自信あらば、人格を無視されて迄、我慢して婚家に留まるには及ばぬ例が數多くあるといふことである。それはいかにもと點頭かるゝ事で男子にあつても、獨立する資格のない者は、他人に使はれて虐待され、殆んど奴隸のやうに仕向けられても、致し方なくそこに執着して居なければならぬのである。我が國現今の如く、不完全なる結婚制度の下にあつては、婦人は依然として百年の苦樂他人に依る憫然たる境遇に置かれなければならぬ。一旦この悲境から脫しやうとする時には、勢ひ經濟的婦人問題も起つて來るが當然である。即ち女子は自らの生活費を自己の手で獲得するのは、自己を男子の束縛より脫せしむる第一義であるといふ叫びである。

□女子職業教育の需要

然るに女子の現狀を省れば、女子は如何にして其の要求を實行し得るであらうか。勞働社會の女工の如きは、工業會社に雇はるゝとか、他の然るべき方面に働き場所を見出すことは、左迄困難ではあるまいが、中流の女子になるとなか〳〵さうは行かぬ。假令家事を相當に處理する事は出來ても、それ以外に特別の練習なき身は、何なりと職業に從事して自己の生活費を儲け出すことは容易ではない此に於てか女子職業教育問題が起つて來り、他日世の中へ出て一人前の働きをなす準備を作る爲めに技藝を仕込む學校も出來れば美術を教へ込む學校も出來る、而て是れ等が孰れも相應に繁昌して行く

時事週評

□特使宮の御歸京　訪露の大命を果させられし閑院宮載仁親王殿下には、十五日午後八時三十分内山侍從武官長、安達特命全權公使以下の隨員を隨へさせられ、妃智惠子殿下各宮殿下を始め、八百餘名の奉迎員中を、御機嫌麗はしく御歸京遊ばされ、翌十六日御參内、親しく兩陛下に御拜謁の上御復命遊ばされました。日露の親善は今や堅く結ばれて、東洋平和の礎は此處に築かるゝに至つたのは、この上ない喜ばしく、有難いことでございます。

□文展と女流作家　今年の文展は出品者が多數であつたのと、鑑査の嚴密であつた爲めか、僅か一割の入選を見たのみでありますが、中でも女流作家は別項時事欄に記載の如く、日本畫に四人、油繪に三人の入選を見たのみで、多少名ある人々が孰れも落選の悲運に逢ふて居ります。元來藝術には男女はない筈でありますのに、多くは女なるが故にと實力以上に買はれて居つたとすれば、今度の落選は更らに眞實の腕を磨く上に、よい刺戟となるであらうと、一方からは喜ばれます。かの二科會に鈴木武志を鈴木たけ子と僞名して入選を急せつた等は、時代の沒緰を見るやうに、苦笑せずには居られませぬ。

□最後の大學傳道　東京に於ける基督教の大學傳道は、豫定の通り、この秋を以て愈よ最終となるべきにより、過る十四日神田三崎會館に婦人大會を催したるを始め來月初旬迄、連日各方面に亘つ

三

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

のはその需要があるからである。

□歐米婦人の職業の範圍

然しながら慈善事業とか養育事業とか文學藝術とか、數多き職業中には家庭生活と兩立し得るものと否らざるものとあるのであるから、各自その境遇に應じて宜しく撰擇せねばならぬのは、固より論を俟たぬ所である。歐米諸國に於ては今や外交官、政治家、軍人、裁判官等、男子でなければ勤まらぬもの丶外、孰れも女子の働き場所となつて居るが、我が國では未だ斯やうな狀態には到達して居らぬのである。けれども私は我が日本も職業敎育の進歩につれ、軈て斯る氣運に向つて來なければならぬと考へる。今日でも既に敎育事業は女敎師を歡迎し、各商店特に銀行、三越等は女店員を爭ふて使用し鐵道や郵便電信電話事務に多數の女子を喜んで採用するに至つたではないか

□女學校卒業の有志の自習

そこで吾人が今日の場合焦眉の急務として切に希望するものは、斯く完全な職業敎育を受けずとも、何人も女學校卒業後直ちに從事し得るやう簡易な方法で手藝をして貰ひたいと云ふのである。女學校で敎へられた裁縫とかレース、刺繡、編物等、何れでも手藝と稱ふるものは、ほんの手ほどきに過ぎないのであるから、之れを以て一廉の生活費を得んとするには、尙多少の練習を積まねばならぬ

それをやるには卒業の有志が申合せて、每週幾回にても日を定めて母校に集り、各自その擇ぶ所の種類によつて組を作りそれ〴〵敎師を雇ふて習ふことにし、漸く熟練するに從ひ、其の製作品は如何やうにも賣捌きの道をつける事が出來るので、近來は殊に來遊の外人が、家庭で作つた細工物、編物等を、賞玩するとの事であるから、その求めに應じて賣捌いても宜しく、又一定の數量に達したならば之れを流外へ輸出することにすれば、最も屈强な貿易品となりわが一身に備ふるのみならず一面國產の一助ともなるのである。加之ならずこの機會を利用して、家庭の改良、或は料理、裁縫の新工夫等、知識の交換をなす上にも極めて便宜であつて、一擧兩得ごころか三得にも四得にもなるであらうと信ずるどうか此際諸孃は奮つてこの勸告を實行されんことを切望する次第である。

ての集會が催されます。廣い東京は尙何處に會合があるかさいふ風に全く行き亘りは致しませんが、それでも年々未だ食はず嫌ひの人々が、これが緣さなつて敎へを聞き始めたさいふ車が、尠なからずあるさうであります。世の識者さ呼ばれる人の中にも、基督敎を聞かずに誹る人がありますが、かゝる機會に少しでも研究して見たらばよいでせう。

□忘れられた最初の女流洋行者

明治四年十六歲を頭に、健氣にも遙々米國に留學した五令孃の中、一人は早世し、餘の三人は大山公爵夫人さなり、瓜生海軍大將夫人さなり、津田英學塾長梅子女史さなつて、何れも榮光に輝く生涯を送られたるにも拘らず、上田てい子刀自は病氣の爲め、留學一年にして歸朝されたさは云へ、その後杳さして行衞さへ分らずに居つたものを、四十六年目の今日、漸く其の在所を知る事が出來て、一行の三女史は近く小集を催して懷舊談に耽るさいふことであります。かつめでたく、かつ悲しき出來事さはかういふ事を申すのでありませう。人の運命が一寸した事から雲泥の相違を生ずる事を、てい子刀自は自分の身の上にどんなにひし〳〵さ感じられて居る事でございませう。

□ペスト流行の徵

伊勢四日市に鼠疫發生して今や全市に病菌蔓延し至る所に有菌鼠を見出すさの事です。病菌の系統は印度から來た綿糸に附着して居つたものらしく、其綿糸は東京方面に入つたさの事です。虎疫やう〳〵下火さなつた昨今、またこの聲に脅やかさるゝ事は、折角好もしい秋を葬り去るやうに覺えます。鼠疫に一人斃るれば、市は消毒其他に一萬圓の費用を費すさの事です。ペストの媒介を爲す鼠狩りを、各家庭では早く勵行致したいものです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

繪を見る人の爲めに

高村光太郎

□好い繪を見度いといふ要求

繪を見る人と見へば、普通社會一般の藝術家の作品を鑑賞する人達を指すのでありません。かう言ふ人は平生謙遜して私は素人だから繪のことは分らない、といふのが癖です。その心持ちは素直で、藝術家には決して惡感は起させませんが然し繪を見やうとする以上はもう少し夫れが大きい意味を持つてゐることを考へなければなりますまい。昔から非常に偉大な藝術家が出た時は多くの場合公衆が割合に分つてゐました。この宜い例は希臘の文藝時代、佛國の文藝復興期、日本の天平時代でせう。であるから繪を見る人はまづ自分が半分は藝術の雰圍氣を作るくらゐの考へがなければなりません。唯謙遜して、何の要求もなく心の底までどうでも宜いと言ふ調子ではなく、繪を見る以上は好い繪を見たいと言ふ事がその根本の要求になければならない。この要求がなく、突き當りばつたり何でも見れば宜いといふのでは、實にその態度が子供が玩具を買ふのにも劣りませう。今開會されつゝある文部省の繪畫展覽會に行くにもこの態度がなければなりません

□強く感じたもの

では如何な繪が宜い繪かと言ふことが次ぎに起る問題ですが、夫れは各々見る人によつて異るから、この繪が宜い繪だと一概に斷定することは出來ません。若し未だ何の鑑賞力もない人で、如何な繪が宜い繪かと言ふなら、すべて作品を見て何かしら強く感じられるもの、――夫れは色彩の如く眼から來るものでもないし、理智に訴へた意味から來るものでもない、また情緒から來るものでもない、言はゞ一つの氣魂が自分の精神も肉體もおびやかすといふやうな感じ、自分を何處か廣やかな世界に誘ひ行くやうに思はせる、其樣な感じを起させるものが宜いのであります。之れは見る人の程度と作品の程度とによつて相違はあるが、兎も角根本にこの標準がなければなりません。この感じは全く虚心平氣で見なければ眞實に感ずることは六ケ敷いものです。展覽會などに行くにも、何か非常に宜いものがあつて呉れゝば宜いがと唯願ひ、つまらぬ批評など聞かずに正直に見て歩むのが眞實の鑑賞家の群の中に這入る這入り易い途であります。種々人によつて程度はあるが要するにこの經驗が數重るに從つて人から敎へられない自分の心から湧き出た標準が出來ます。この人間の自然の心に基く標準こそ藝術の雰圍氣を作る美しい要素であります。又藝術家の方から言へば最も好ましい群衆、鑑賞家であります。かうした人は其の人の内生活が深くなるにつれ、いよ〳〵高い藝術を味ひうる人となり得ます。

□時代の藝術を高める群衆

この正直な心に訴へる伸び〳〵した素直な感じを抱く群衆が數多く出來れば必ずその時代の藝術は發達しませう。であるから展覽會を見に行く時などその途の專門家、繪かき、批評家などの類と連れ立つて行つてその批評を聞きながら見て廻ることは、藝術そのものから言へば有り難くないことだし、その人として

五

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は眞實の心の眼を誤られ易い損な仕方であります。また素人は筆の運び方とか色彩の工合などのやうな專門的法則は寧ろ知らない方が宜いやうであります。此樣なことは言はゞ手段で、繪かきとしては何でもないことであつても不斷慣れない人が少し聞きかぢると夫れが非帝に重大なことのやうに思はれてきて、其樣なことのみが氣になり出し遂には素直な心が失せてなります。元來繪を見ると言ふのはその繪の中に潜んでゐる生きたものを見るので、決して、あゝ綺麗だとか、穿つた所を見せたものだとか、用をしかけて新聞を讀んでゐる所らしいが全くあゝした氣分がよく現はれてゐるとか言ふ細々しい事を見るのではありません。此樣な部分的なことにかゝづらつてゐると之れも眼を誤まる基となります。あゝ綺麗だと言ふのは眼に訴へた感じ、穿つた所と言ふのは理智に訴へた感じ、また哀れつぽいなどゝ言ふのは情緒に引き入れられるので、この三つは眞實に藝術を鑑賞しやうとする人には大きな妨げとなるものであります。

口繪を觀る人は此心が根本

之れ等の感じは、自分の魂がまだ大きくない爲めに來る感じであるからこの程度のことを感じたならあゝ此處だと思ひもつと自分全體を動かすものを求める心に自分を引き上げなくてはなりません。如何な人でも自分の經歷の中には身慄ひするほど悲しい、又はつらい激動を覺えることがありませうが、繪の中からも夫れと同じ感動をうけるやうな態度にならねばならない。其處まで達する迄求めなければ何時までも素人で群盲で終り、藝術の雰圍氣を作り上げてより高い藝術家を生み出すことは出來ません。群盲は何萬人ゐても藝術家とは沒交涉です。唯素直な心で好いものを求め、繪の中から生きたものを感ずるやうになる事が最も大切なことであります。宜いものを求めて止まぬ心、繪を見る人はこの心がその根本を支配してゐるのでなければなりません。

六

文展の一人ぼッち

昨年四人が四人揃つて御目出度入選した閨秀作家、今年はどうしたものか鑑査の方針ががらりと變つて四人の中、只一人が入選して他の三人は見事落選の憂身を見た。其落選と決した當日から二三日は悔し涙に齒ぎしりばかりつゞけてゐたが、落選仲間の方が數が多いので聊か慰むるに足り、早速御仲間を糾合して旋毛を曲げて落選祝ひばかり、郊外のさる公園に氣晴に行き盛んに文展の不公平を呪ひ合つてゐますと、こちらは當選した○○女史、當選はしたものゝ御仲間はづれにされ、只一人ぼつち、心の底にうれしさを深く秘めながら、輝き渡る秋の日影を慕ふて等しく同公園にさまよひ來るのに出會つた其刹那、落選組三人の一行はまぶしい日輪を投げられたやうに今迄の氣焔もどこへやら、袂に顏を包んで逃げました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

物語のやうな生涯

北米の空に兇刄に斃れし蘇峰氏の愛甥と其の夫人

□遺骨を抱いて歸朝した夫人

夏も漸く盛りに間近い七月初めの某日であつた。白い洋傘が花のやうに飛ぶ横濱埠頭に三十路の上をまだ幾つも越えなさゝうなうら若い婦人が、すく〳〵と伸びやかに丈ののびた骨格たくましい三人の子供の手を引いて下り立たれた。群り寄る迎ひの人々にとり圍まれながらその喜びを包むべき顏の何處かに、言ひ得ぬ暗い影がたゞよつてゐた。それは、

『何もかも運命です、神の御心です。』と言ふ悲しい諦めのやうでもあれば、

『彼れは彼れの爲すべきことを忠實に盡したが故に身に禍を招いたんです。之れを何で私が悲しみませう。唯我儘を言へば、彼れの生命をもう暫く留めて、そのなすべきことが爲せたうございました。まだ彼れの爲かけた仕事はその緒を開いてさへ居ないほどでしたから……。』と悲しく、傷ましく思ひ悩んでゐるやうでもあつた。この憂ひに沈んでゐるらしい婦人と言ふのは、政界の覇者德富蘇峰氏及び不如歸や埋木で幾多かの若い男女に涙を絞らせた蘆花氏の愛甥の一人故川田勉氏の未亡人なほ子女史であつた。勉氏は昨年の秋、罪ある一人の同胞を助けた爲めに對手方の恨みを受け身自ら、まだ夢まどろかな愛妻と三人の子を異郷の空に殘したまゝ、兇刄に斃れた氣の毒な人である。氏を知る人はみな擧つて言ふ。

『君の生涯は遂ひに一つの物語であつたその生ひ立ちから、結婚から、死に至るまで……。』と。

□旅縦不羈の生涯より牧界に

今ははや十數年の昔さなつた。まだ專門學校さ呼んでゐた、今の早稻田大學に通つてゐた一人の紅顏の美少年、病弱の故を以て奮然校門を去り、僅かの金を懐にして遠く北米に渡つて了つた。素より健康ならざる彼れに何の希望があり得やう。不死の病さ言ふ意識にその心の表を覆はれ、廣い天地の間を、なかば野獸のやうに暴れ廻つてその遣る瀨のなき哀しき心を慰めてゐるのであつた。しかし彼れは決して肉體的にのみ斯うした野つ放しの生活を營んでゐたのでなく、靈的にもまた充分野つ放しであつた。彼れは時に食事を廢しても、その好む書籍を求むることを辭さなかつた。靴底の破れを繕う金に困り、足を血まみれにして歩んでゐたのも其の頃の事である。物價の高い米國で一日僅かに十錢で生活したのもその頃の事である『白銅一つ』さ言ふ短篇を描いて會心の笑を浮べたのも當時の事であつた。兎角するうちに彼れの健康は舊に復した。彼れの地位も一寒の貧書生でなく、牧師の一人さなつた。かうした時彼れの心に浮んだのは大きな黒眼の底に深い思ひを疊んで彼れを見送つた、故郷にある一人の女の上であつた。燃ゆる思ひに捕はれた彼れは瞬時もじつさ平靜を保つことならず、ひた走りに故國へ歸つた。

□忘れぬ乙女の上

歸つて見ると故郷には十年の月日が經つてゐた。眼にふれるすべてのものが悉く新らしくなつてゐた。けれど彼れの心には其樣なことは何うでも宜かつた。問題は唯乙女の上である。三千里の波濤を踏んでまで慕つて歸つて來た戀しい乙女の上であつた。顯に誓つたのではないけれど失意の彼れを見送つた黒い瞳から放たれた光りは、決して故なきものでもな

七

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

かつたとしか思はれない。彼れはまづ乙女の其の後の生活を知らねばならなかつた。寸時も早やく、寸時も早く。

□同じ思ひに待ちし人

彼れが北米の野で苦闘をつゞけてゐた十年の間には乙女の上にもさま〳〵の運命が影を投げてゐた。まづ父母の愛を一身に集めて足らないことを知らなくて育つてゐた彼女は、父の死によつて浮世の生活の苦しみを知るやうになつた。續いて年頃の女の上に降りかゝる種々な縁談によつて世の男の心も少なからず知らされてゐた。自分が自分の腕で食べることの苦しい經驗もなめてゐた。しかも彼女の心に最も強い印象を刻んでゐたのは、花恥しき乙女の昔、故國を去り行く彼れを見送つた悲しい思ひ出であつた。之れが戀だらうか、と折々少さい聲で自問しながら、その人の面影を胸に描いて故鄕の熊本で、老母と二人寂しい日を送つてゐた。

□十年の戀は終に實を結ぶ

彼ればこの報知を得ると顏までぽつと赫めながら、胸を戰かせて熊本に向つた。そして若い昔の日に歸つたやうに、途切れ〳〵に漸く自分の意志を彼女に傳へえた。彼女は久し〳〵夫れとなく待つてゐた運命が斯うして眼前に展開されると、何時となく現實生活に苦しめられた心が直ちに飛びつくやうに諾かせない。一向にその人の言ひ寄る日をのみ待ちながら十年の日を送り來しものなるに……。

『あなたは私をお連れなすつても生活にお困りではありませんか。』とこの事實を確めた上、十年の戀は漸く實を結んだのであつた。この乙女がなほ子夫人で、乙女の瞳にあこがれ歸つた靑年が川田氏なのである。

□同棲五年

苦しい戀を贏ち得た二人は渡米の旅を蜜月旅行とした。そして桑港から南へ千哩、ロスアンゼルスに程近いサンタバヽラの教會に旅裝をといた。同棲五年、夫れは決して長い月日ではないのに、時雨に木の葉の染まる去年の秋の夕べ、川田氏は討たれたのである。在米日本人の同情は等しく川田氏の上に集つたが、彼れの呼吸を呼び返すとは不可能であつた。彼れは熱い同情の涙をそゝがれながら遠く天國に去つた。川田は妻を得て漸く輝き出さうとしたのに、とその時人々は深く惜しんだと言ふ。雷火のやうに鋭くピカリ〳〵と動く氏の傍にある夫人の平素は、終始一貫大道の如く坦々たるので、何時も氏の光りと光りとの間を接いで調和をとつてゐたと傳へられてゐる。實に美しかりし二人の上なりしを……。良人の斃れてゐられるその凄壯な光景を目擊された夫人は、自ら後の始末に手を下された程落ち着いた態度であつたのに白人達は感じ入つたと言ふことである。(民子)

理智

安中花子

友とあだ其のわかちさへ思ひ見ずひたすらもだす性となりける、

しみ〴〵と母の心の思はるゝ我も大人となりにけるかな、

理智といふ憎くいとしき力ゆゑ我が身安けくありぬはた年

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

T子さまに

「私の見たアンナカレニナ」を拝見して

民子

T子さま――

前號の『私の見たアンナ・カレニナ』まことに興味深く拝見致しました。私の貧しい感想の中から漸く筆をとつた彼樣なものを、かく迄熱心に讀んでお考へ下すつたのかと思ひますと、感謝に堪へず勿體なく存じて居ります。夫れと同時に、私の筆の足りなかつた爲めに、私が言はうとした總ての事が充分現はれてゐなかつたことを思つて心苦しさの餘りもう一度筆をとります。どうぞ然うすることをお許し下さい。

***

T子さま――

あなたは私が、『戀の擒となつて盲目になり易い人間の弱點のみ遺憾なく見せつけられてゐて氣持が惡かつた、しかして感情一片の戀が、如何に人間の眞實の生活から遠いもので、眞實の生活を營まうとする人の防害をするか云々』と申しました事に就いて『私は道徳や常識をはなれて空想的に美しいものを受けた。』と仰有つて、アンナが背後には家庭や子供などゝ言ふ面倒な社會問題をひかへてゐながら、世間の道徳などを超越して、いとも大膽に神秘的な入口を探し求めて燃ゆるやうな戀の生活の中へ飛び込んで行つた、その太い一直線な戀の路を走るものゝ愚しさを哀笑してばかりはゐられなかつた、私はいや高きものに通ずる純な美しい閃きを彼女のその戀に對する態度の中に見た。と言ふやうに附言して被居います。そして最後にその全生命を惜しげらなく戀に打ち突けていつてゐるアンナの態度を、情熱を、力強いことだと讃美して被居います。

斯うして見ますとさながら私は戀と言ふ美しい、貴いものを、時代から時代に移つて行く影のやうな道徳や常識の眼からのみ見る姑や小姑のやうに思はれて一寸嫌な氣が致しました。私の心はもう少し展やかな世界で息をして居るやうに己惚れて居りますので……

私とてアンナのあの強烈な情熱を決して笑ふ女ではありません。熱狂せんばかりのあの態度をむしろ美しいとさへ思つて居ります。

***

T子さま――

とは言へ私はアンナのあの戀を讃美する譯にはいかないのでございます。斯う申しましたら、さぞ、何といふ矛盾したことを言ふ女だらう、と不審に思召すかも知れませんけれど。でも私には讃美することは出來ません。人間が戀をするためにのみ生れ出たものでない限り……。

***

T子さま――

あなたは戀と言ふものをその情熱にのみ御覽になつてお出なのでせうか。若し然うであつたら私とは全く立脚地が異りますから論じ得ないのでありますが、若し私と同樣に戀を人間の生命にふれたものとしてお考へ下さるなら、決して私が道徳や常識などの上に立つてあれを書いたのでないことがお分り下さるだらうと思ひます。眞實に人間の生命に觸れた聰明な戀はその人の生命を助長こそすれ、死には至らせないものだと思ひます。永久に行く途の光りとなつて二人の上を限りなく輝くものだらうと私は信じて居ります。この故に、あの興味あるアンナとキッテーとを演じた二人の女優の實生活即ち二人の戀までも私は引き出して考へたほどでございます。

***

T子さま――

何ですか大層くだ〳〵しく書きつられましたが私の心はお分り下さいましたでせうか。終りに、『私なら死にはしない、更らに深く生くべき道を求める。』と仰有るあなたのお言葉が何處から出たか私には分りません。私はアンナにとつては戀は彼女の生命の全部であつたが故に、終りまで戀を追窮して鐵路に横はるのは自分の生命を完うするのだと思ひますので。

手帳より

九

銀座尾張町の地先から歌舞伎座の方に向ふ左側に新らしく裝ひ凝らした小間物店が出來ました何事にも新奇を競ふ今の世に何處となく落ちついた趣が見えるので立ち寄つて見ると、夫れは舊の白牡丹の番頭さんが勇ましい江戸つ子堅氣を以つて主人の跡を繼いで開店したのでした。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いかもの食ひ（承前）

薄田斬雲

◎蜂の子　信州邊の山在へ行くと、蜂の子を食ふと聞いて居たが、先年信州人から送られて夫を食ひました。之は決して不味いものではありません、滋養の意味から言つたら最上のものでせう。

◎蝗　早稻田在學中、仲間が學校の前の田甫からいなごを捕つて來て、生きてるのを熱湯の鍋へ入れて蓋をしました五六分間煮て、蓋を取つて見るを、湯の中は蝗が一杯です其儘棄てました。其時の事を思ひ出すと、職人が煮たものも食ふ氣になれません。

◎蛇　皮をむき取つて火に燒くと脂肪がじゆう／＼して大變美味い香がします。一度食つて見ましたが、丁度鷄の頭の様で、骨が多く肉がありません。兎に角脂濃くて堪りません。

◎鮭の頭　生鮭のはらゝ子の美味い事は、東北、北海道の人間は普く知つて居ます。東京人は、未だ余り食はない様です、却て鹽にした筋子が賞味されて居るのが笑止千萬です。處が、鮭の頭ばかりは、誰れも殆んど食はない様ですが、叩いて團子にしたのを食はされた事があります。大變結構なものです。やがて生鮭が出る時節ですから、今年は大いに鮭の頭を食ふつもりです。モ一ツは鹽鮭の頭を燒いて薄く切つて生酢にする料理です。之も却々風味があります。モツと奇抜なのは、鹽鮭の太骨を能く燒いて焦がして昆布巻きにするのです。之は實際あるのですが、私は未だ味つた事はありません。

◎鷄の血飯　之は鷄の血で飯を炊くのです、鷄の咽喉を切ると鮮血迸り出づるのを、其儘釜へ取つて飯を炊くのです。之は一度試みやうと思つてまだ試みません。人の話では大變美味いと言ひます。

◎牛乳飯　之は幾度も試みた人がありませう。些と硬く炊いて、ゆつくり咀嚼すると美味みがあります。尙は味噌汁も水の代り牛乳を用ゐると美味いとは牛乳屋の話です。

◎胡桃和へ　東北へ行くと、胡桃が澤山あるから、普通の家庭でも能くくるみ和をします、くるみの脂肪、成分には何等か特有のものがあると見え、果實食の人も、一週に一度はくるみを食ふと言ひます湯島の梅月で、栗まんぢう仕立ての胡桃まんぢうを、どうらん、と名けて賣つて居ましたが近頃はくるみが拂底だとて止した様です。

◎銀杏　くるみと連想されるのは銀杏です、冬の夜語りに燒いて食ふと、樂みなものです。肉と銀杏の甘煮とか、茶椀むしには東京でも用ゐます支那料理では飴で煮たのを出します。

◎仙人掌　球しやぼてんは、痔の藥だと言ひます。生で砂糖でも付けて食ふのです。元來しやぼてんは熱帶產物で、一丈二丈の大きさになる、土人は外部のとげを削り去り、之を刻んで家畜の食料にするそうです、人間にだつて食へるのでせう。

また／＼有るのですが、紙數限りあり一先づ切り上げます。兎に角、子供と陰氣な婦人には何んでも嫌ひなくいかものを食はせる様に馴らした方が好いのです。そして外來の刺戟にも堪へる强壯な腦味噌を造ることです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

忘られ易い

嬰兒の衛生

尿の始末と哺乳の分量

女醫 藤井かう子

口汚くないと思ふは習慣

子供の尿は習慣上汚くないやうに考へられて、疊の上に麁相しても、精々湯を流して拭き取る位で、アルコールで消毒する事等は稀れであります。いくら子供のでも、尿はやはり新陳代謝の排泄物ですから、それが疊等に滲み込んで居ればいつか蒸發しますから、自然空氣を汚す事になります。然し母親が少し注意すれば、麁相も勿論させず、襁褓も濕らさずに濟みます。

口終日襁褓も濕らさずに

子供によつて多少違ひませうが、私の實驗上からは、乳を飲ましして、初は凡そ二十分目に、次の一時間斗りは十五分毎に、二時間目位からは二十分乃至三十分毎に小用を足でやれば、丁度よいやうです。三時間目に哺乳して、またこの順序に致させれば、終日襁褓も濕さずに濟みます。雨天の日はこの時間を二三分早めればよいのです。生後三ヶ月目位からは、かうしてお丸にさせる方が、皮膚の爲にも、外氣に當てさせるのでようございます。且ついつも腰が乾いて清潔になつて居るので、爛れ等が出來る憂ひもありません。

口乳の時間を制限するには

次に乳の時間を制限するに就て注意すべき事は、一回の分量が充分かどうかを氣を付ける事です。時間斗り制限して、お乳をやる時にせわしくして、落付いて飲ませない母親の子供は、よく營養不良に陷ります。乳をやる時には、專心その方に氣を向けて、充分に飲ませるやうにしなければ、只泣く外はない子供を餓えさして終ひます。なほ乳を飲ませる際に子供の口や乳首を湯で絞つたガーゼで拭く事は、近頃追々心ある御家庭で勵行して居らるゝやうですが、誠に結構な事でこの爲めに黴菌の侵入を妨いで、病を未發に妨ぐやうになる事と存じます。

口面倒と思ふ念を去る事

子供が病氣に罹れば、本人はもとより傍の者の心配は並大抵ではありません。そして看護の爲め一方ならぬ手數のかゝるのを思へば、寧ろ日頃少し手數をかけても、病氣にならぬ方法を講ずる事が何よりです。面倒と思ふ念を去つて、一寸した事でも實行すれば、大きな結果を生みます。

噂

▲銀座のとあるおもちや屋の店先に立つて、大層憤慨して居る婦人がある、それは當て報知に敏腕を奮ひ、今日も數種の婦人雜誌の記者として、七人の子供を抱へながら、快活に働らいて居られる磯村春子女史であつた。▲其の憤慨の筋はかうであつた。種類の同じ男女の人形が、男は十二錢女は十錢と正札が付いて居る、「番頭さんどうして女は二錢安いのですか」「へい、どうしても男の人形は丁寧に拵らへますので」「人形迄男と女と區別しなくてもよささうなものだれ、人形屋にさう云つておやりなさいこれから兩方共丁寧に拵らへるやうにつて」「一寸○○さん此處にも婦人問題がありますよ」と記者を見かけた女史は大きな聲で呼びかけるのであつた。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

入選した赤ん坊と母親の養生法

赤ん坊展覽會の審査の結果

口入選の赤ん坊五十餘名

去る一日に催された赤坊展覧會の審査發表は、十五日に同じ帝國幼稚園内に開かれました。降り續く秋雨に、泥田のやうなぬかるみを辿りながら、證書と賞品を授與さるべく入選者五十餘名が蒔々と集まつて參りました。當日一二等の名譽を擔つたのは淸田好男氏(三七)長男明さん(三月十八日生)で、體重三貫百三十目、胸圍一尺六寸、次は靑木春松氏(五一)長男辰男さん(三月廿五日生)の、體重三貫目、胸圍一尺六寸五分。女兒では今井登美藏氏(三五)次女福子さん(四月廿一日生)の、體重二貫七百三十目、胸圍一尺五寸五分。田中太一氏(六八)次女よし子さん(二月十一日生)の體重二貫八百目、胸圍一尺三寸七分等が際だつて勝れて見えました。

口父母の平均年齢

入選した赤ん坊の中には、淸田辰雄さんのやうに父さんが五十一で母さんが二十五さか、又田中よし子さんのやうに父さんが六十八で母さんが三十二さ云ふやうに兩親の年齢の差の多い人も稀れにはありましたが、平均年齢を見ますさ、父親は卅三歳三ヶ月、母親は廿七歳八ヶ月で盛んな時代の人達でございました。そして兩親の體格も仲々見事で平均して見ますさ父親は十六貫九百七十五匁、母親は十四貫四百六十九匁になつて居ります。特に面白いさ思ひました事は、當選者の首位を占めて居るものは春生れのものに多いさ云ふ事でございます。

口母親の養生法

これ等の子供の育兒法及び姙娠中の注意についてお母さん達の語る處に依りますと、姙娠中でも平生と同じく仕事をしたり運動をしたりして居たのが多く、勿論注意はして居ましたが、其の爲めに、特に日常の仕事を廢したと云ふのは少ないやうでした。乳は凡て母乳で、乳の出を助ける食物として多く擧げて居るのは味噌汁が一番多く、野菜、魚類、餅、芋

十二

家庭の化粧 (9)

▼▼▼神聖な家庭の象徴▼▼▼

▼▼▼現代要求の化粧法▼▼▼

‖汚垢と皮膚の營養‖

‖皮膚と健全な狀態‖

皮膚の土臺から調へるといひますことは、一口にいひますと、汚垢を落して營養を增し、機能を活潑にして健全の狀態にするといふことであります。

皮膚の表面に附着する汚垢は、單に穢いとか、見苦しいとかいふ外見上の感じが惡いのみでなく、之が爲めに皮膚が絶えず營んで居る機能を妨げ、順調に行く營養を害ふべきものでありますから、之を洗ひ落しますことは、外見の醜を除くのみではなく、抑も皮膚の土臺から調へます第一の仕事であります。

元來皮膚は絶えずその皮脂腺から皮脂を分泌して居ります、此の皮脂によつて皮膚の表面は潤澤の色艶と、柔軟な彈力とを與へられ、滑かで美しい光澤といふ自然の美しさは、一に此の皮脂によるのであります。此の皮脂が後から〳〵分泌

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

類、牛肉、鹽もの、牛乳、果物と云ふ順序でした。

□女兒の第一等者

女兒第一等の選に入つた今井福子さんのお母さんの育兒法を伺ひますと、やはり姙娠中も平常と同じく、御宅の御商賣の御手傳ひをして居られ、出産後百日の間は一日も缺かさず入浴させたと申す事でございました。大小便を捧げてさせたのは生後三十日目からで、その頃から日に二回は必らず戸外に連れ出しては、新鮮な空氣に觸れさせていらつしやるさうです。其の外は晝も夜もよく眠つて居られるとの事ですから、抱いて居る事も少ないやうです。特にお乳の量を增させる爲めに時々薄い味噌汁で餅を柔めて食したり、月に二回は必らずさろゝいもを食つて居られるさうでございます。(淸子)

秋の馳走

櫻井ちか子

□豚のビフテキと林檎

豚は薄く切つて、共脂(豚の脂身)でよく燒いて、鹽と胡椒で味をつけて置ます。この付け合せるには、此頃のものでは林檎が淡泊して居て、大變豚との調和が宜しうございますから、これをよく洗つて、皮のまゝ二分位の輪切にして、心を抜き、バタで裏表から燒いて一所に盛ります。林檎だけ頂くのも美味しいものです。

□松茸の蒸燒

松茸を買ふ時に、よく注意して、成る可く身の締つたので、裂いて見て中の眞白なのを撰ばないといけません。それを水で洗つて石付を除り、一本毎に美濃紙二枚位で包んで、其のまゝ水に一寸つけて置きましたらば、紙とこ水氣を去つて、温灰に十分乃至十五分間ばかり入れて置きます。そして紙が少し焦げた時に灰から取り出して細長く裂いて、酢醤油を掛けてすゝめます。

□松茸飯

松茸の石付を除り、心持厚目の短册に刻んで醤油と砂糖で味をつけます。煮汁は出來るだけ少ない方が宜しうございますから、別に水等も加へず、松茸の水氣も充分に除いて煮付けます。別に御飯は米一升に醤油五勺の割で普通に炊き、火を消す前に松茸を汁と一所に釜に入れて、手早く掻き交ぜて蓋をして、暫らく蒸して置くのですが、松茸と御飯とを交ぜます時に、冷えた松茸を入れますと、御飯が冷えて心があるやうになりますから、一度温めてから交ぜるやうに致します。昔から豆腐は松茸の毒消しと申しまして、松茸にには必らず豆腐を添へる事が習慣になつて居りますから、實際さうかは存じませんが、豆腐を入れた松茸汁なり、八盃豆腐なりをお添へになるのが宜しからうと存じます。

□大根の柚子酢

大根を薄く刻み鹽をかけて暫らく置き、ざつと洗ひ落して笊にあげ、柚子は酢を絞つて、其の中に少量柚子の身をも刻み込み、白砂糖を加へて、鹽梅致すのですがもし酢味が足りませんでしたらば、普通の酢を加へます。これを前の大根に掛けて喰べるのです。松茸飯等には至極結構でございます。

せられて、皮膚の表面に普遍せられて皮膚は營養を完全にして行かれるのでありますが、之によつて表皮の新陳代謝が營まれて、常に生氣あり、生色のある美しく新しい皮膚が作られると共に、古い表皮の剝落した屑片と、皮脂に附着せられた塵埃とが、汚垢となつて皮膚の表面を蔽ひ、皮脂腺の口を塞いて、皮脂の分泌を妨げるのであります。之を洗ひ落しますのは、獨りその汚垢を落すといふのみではなく、之を落して皮膚の機能を活潑にし、皮膚の營養を順調にすることゝなるのであります。

されば汚垢を落しますのは、表面に附着した汚垢さへ落せば宜しいといふのでなく、汚垢を落すのは皮膚の營養を順調にする爲めである、健全な皮膚にする爲めであることを思はねばならぬのでありますから、之が爲めに皮膚を損め、荒びさせるやうなことがあつてはなりませんので、汚垢はよく落ちて、營養が順調になるクラブ洗粉で洗ふやうにさへしますれば、汚垢は落ち、營養は增して、健全な皮膚となります、これが化粧せらるゝ土臺の手入であります。(廣告)

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

オハナシ

忘れな草（下）

恭子

小枝ちゃんはお母さんに御願して、其草花の鉢を下に下ろして頂きました。小枝ちゃんは何と云ふ小さい可愛らしい御花だらうと思ひました。

「お母さん空の色と同じね、此の花は可愛らしいこと。而して何と言ひますの名前は。」と伺ひますと、お母さんは、「忘れな草と言ふの。」と教へて下さいました。小枝ちゃんは面白い名前だと思ひました忘れな草、なの字が有るから忘れてはいけないと云ふのだらう。誰がどうしてそんな名前を此の花につけたのだらうと思ひ乍ら、凝とお花を見詰めて居ますと、なんだかお花の方でも、小さい花瓣の一つ〳〵が、小枝ちゃんの方を向いて微笑んで居るやうに見えます。

「小枝ちゃんそれでは今晩はお母さんが此花の名前を誰がつけて上げたかを御話して上げませうか？」とお母さんがおつしやいましたので、小枝ちゃんは今もそれを考へて居たところだつたのですから、「エヽ、お母さん。」とさも嬉しさうに頷きました。

するとお母さんは小枝ちゃんを連れて長椅子に腰掛け乍ら、小枝ちゃんの小さい御手てを御自分の奇麗な御手の中に挟み乍ら、御話を始めなさいました。『皆の住んで居る此世界がね未だ出來て間もない頃でした。神様がね一人の天使を地面の上に御寄越しになりました。それはね、地面の上に生えて居るいろんな木や草や御花に、名前をつけさせる爲だつたのです。天使はね、地面の上を靜に歩き乍ら、時々立止つては其處等に生えて居る木や草と何かしらん御話をして居たの。すると其度毎にね、木や草はさも嬉しさうにこつくり〳〵をして居ましたと。だつて皆自分達の名前を貰つたんですもの。薔薇と云ふ名前を貰つて好い香をさせ乍ら喜ぶ花もあれば、林檎と云ふ名前を貰つて眞赤い顏をにこ〳〵させるものもあります。

十四

天使は方々中歩るいていろんな花や草に名前をつけたからもうすつかり用事が濟んだと思つて、さあ神樣の所へ歸らうと其白い羽翼を動かさうとしたの。さうするとね、何處かから小さいお聲で「忘れちやいやですよ、私を忘れちやいやですよ。」と呼ぶものがあるの。天使はオヤ〳〵と思つて四邊を見廻したらね、それはホラ此鉢にも咲いて居る此の花だつたの。天使は「オウ〳〵許して呉れ。お前が餘り小さい可愛い丶花なのでつい忘れて行こうとしたさあそれではお前には（忘れな草）と云ふ名前をやらう。」と言ひましたと。それでね小枝ちゃん、此の花は忘れな草と云ふんですよ。』と伺つて小枝ちゃんは又お花の方を向きますと、お花は、「私は小さい。でも忘れては厭ですよ。」と言つてるやうに見えました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

古池のほとり（下）

廣田花崖

五

私は凝と月を見て居た。月の面を薄い雲が間斷なしに走つて居る。月に眼を止めて居ると動くのは只雲ばかりで無數の纎維を持つた薄膜のやうに、又は薄濁りの河水のやうに西へ西へと流れてゆく。雲に氣を取られると月が最も自由な態度で東へ東へと飛んでゆく。それを繰返して居る中に一體月と雲との孰れを運動の本體と見てよいのやら一寸見當がつかなくなる。人間の感覺は案外當にならないものだなと思ひながら妙に焦立ち初めた心を下界に向ける。

人々が歸つて仕舞つてから急に右の山で鳴くボー〳〵が氣になり出した。一本調子の、薄墨で畫いた太い短い線の連續のやうな聲が葬式後のやうな果敢ない氣分を遠慮なしに水面へ注ぐ。

突然ボチャンと水面で跳た物がある。蛙であろう。併し私はヒヤリして俥夫等の方を見返つた。水邊近くに半ば感覺を失つて寢て居る醉人達がいつ水の深みに落ち込まないとも限らない地位にあることを考へた私は、幾度か蛙のボチャリに脅かされた。併し彼等は太平無事に長々と轉がつて相變らずの鼾に池のニムフを驚かして居る。父と助公とは時々正體の知れぬ寢言の交換をやつて居る。

淡い月光は谷間に充ちて、水も草も山も木も著しき程度に其個性を徹退して相互に讓歩し融和し、其處に漠然たる月光の天地を作つて居る。お化が浮れ出す時があるならそれは斯う云ふ時であらう。強盜、幽靈、人玉、魑魅、魍魎、妙な言葉が頭からフラ〳〵と彷徨ひ出る。

眞黑に覆面した男がスーッと側へ寄つて來る。

「誰だ！」と私が詰る。

「俺だ。」と男は答へる。

「俺では分らん。何か用か。」

「貴樣の持金から着物迄殘らず貰ひに來た。」

「ぢや盜賊だな。」

「うむ。」

「うむは呑氣過ぎやうせ。まあ座れ。いゝ月ぢやないか。」

「餘計なこと云ふな。さあ持つてる物を皆な出せ。」

「天下の浪人はいつも無一物ぢや。だが欲しい物があるなら持つてゆけ。」

「へえ、天下の浪人は無一物ぢや。それや俺が云ひたいところですね。」

「どちらにしても同じだ。まあ座れ。いゝ月ぢやないか。」

「いゝ月ですね。」

盜賊は其處へ座る。私は例の筆法で唯一〳〵異神を基礎とした說敎を初める。盜賊は遂々一物をも手にしないで月光を浴びてスゴ〳〵歸つてゆく。

頭の中で突如として組立てられた此樣な場面も、月の下なら充分の可能性を持つてるなど、我と我が空想に呆れながらも考へる。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

月光は池面に漠々と烟つて居る。池のニムフがフワリと浮き出す。アポロを戀ふて向日葵になつたクライチーのやうな優婉な姿をして居る。又フワリ浮き出す。又出る、又出る。數個のニムフはフワリ〳〵と音もなく舞ひ初める。凝と見て居るとそれが漸々淡く輕くなつていつか月光の中に渾然と融けてゆく。

私はうと〳〵とした。

ポチャンと大きな水音がしてハッと眼を見開く。俥夫等の方を見ると確かに三人居る。變つたことも無いらしい。ホッと安心はしたが少し眼が又冴えて來る。

雲が又厚くなつて、風は北から吹き出したらしい。池面の葭がザワリと鳴る。大蛇が出たらと直ぐ私は思ふ。

「大蛇は今でも居るか知らん。」

「居やしませんよ。併し居ないとも限りませんよ。先達て池の葭を刈らうと思つたら近所の人が近頃三つに切つた其一つが四尺もある蛇を投げ込んだなんて云ひましたからやめました。」

之は先刻烟草の火を貰ひに來た人の言葉である。居ないとも限らない。右岸の櫻の古木の洞から醬油樽位の奴がニヨロ〳〵と出て來る。私は日本刀を身につけて宿命論者のやうに平然し込んで呑まれる。腹へ這入つたら切つて出やうと思ひながら咽を下りてゆく中に氣持がよくなつてついうと〳〵する。私は眞個に眠り込んで仕舞つた。

六

どの位眠つたか私は知らない。私はふとフー〳〵と云ふ嵐のやうな息の音に脅かされて眼を覺した。私の眼は何等の努力なしに俥夫等の方を見た。其處には父が炎々と燃え上る焔を壺口をしてフーフー吹いて居た。それは何うしても正氣とは思へなかつた。

「お父さん、何をしてるんです。」と私は云つた。

「誰だ！」と父は答へた。

「私です。」

「私たあ誰だ。」

父は突立つて私の方を睨んで居る。私は少し氣味が惡くなつた。

「私ですよ。お父さん。」

「うむお前か。」と父は漸く私の正體が分つたらしい。

「何をしてるんです。」

「なあに提灯へ火が點いたんだよ。」

父は又白髮頭を横にした。私ももう少し眠らうと思つた。空を見ると雲は漸く厚くなつて行く。微に白んだ東の方から水ばんだ冷たい風がヒユー〳〵と吹いて來る。私は手拭を頭から頰冠りする。譯もなく眠くなつてる私は又直ぐ熟睡に入つた。

二度目に眼が覺めた時には夜はもう殘りなく明けて居た。丁寧な洗面は歸宅後にすることにして池水で濡らした手拭で顏と手だけ拭いて私は俥に乘つた。

十六

＊　＊　＊

私は再び書齋の人となつた。私は洗面より食事より執筆より先づ眠らねばならぬと思つて頭を枕につけた。

「お早う。」と木戸を開けて這入つて來た者がある。

「誰。」と障子を開けるとお作ちやんが十五夜に煮た栗を持つて來てくれたのであつた。

「有難う。學校へ行つて居眠りしちやいかんよ。」

それから午後四時頃迄私は何物をも正確に辨へなかつた。

——了——

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

口特使宮御滞京　訪露の大命を果させられし閑院宮載仁親王殿下には、十五日午後八時三十分隨員を隨へさせられ御機嫌美はしく御歸京相成り、十六日には參内、親しく兩陛下に拜謁の上御復命遊ばされました。

◎總督親任　元帥陸軍大將正二位勳一等功一級伯爵長谷川好道氏は新らたに朝鮮總督に任ぜられ、十六日宮中に於て親任式を行はせられました。

◎バ王薨去　獨逸聯邦バヴアリヤ國王オットー皇帝は十二日薨去しました。

◎聯合軍希臘海軍を收む　英佛聯合艦隊司令長官フルネー提督が希臘に對して、「アヴアロス」「レムノス」「クルキシエ」の三隻を除き、爾餘の各艦並にパイリアス・ラリッサ鐵道管理權を聯合軍に引渡されたしと要求せるに對し、これを承認し、十一日拂曉より引渡しを開始し、鐵道權をも掌握しました。

◎飛行機墜落　海軍演習に參加せる北軍飛行機フ式イの十一號は、十五日午後二時三十分觀音崎南端なる浮島附近にて惡氣流に襲はれ、高さ五十米突の所より海中に墜落し、機は大破損を被り、操縦者坂元中尉は無事なりしも、同乘者可兒中尉は下顎部に重傷を負ひ、出血甚しく言語を發し得ざる模樣の由です。

◎尊德翁の六十年祭　神奈川縣足柄上郡櫻井村では、來る廿日から三日間二宮尊德翁の誕生地柏山にて翁の六十年祭を擧行する事に決し、當日は岡田新文相を始め、知名の士の大講演會及び翁の遺物を展覽會等を催す筈であります。

◎文展開く　第十回文展は十五日から開かれました。既報彫刻を除く外、本年の日本畫は合格百四十四點無鑑査十一點西洋畫は九十二の合格に無鑑査八點であります。本年は審査嚴密の爲め知名の作家の落選したもの多く、特に閨秀作家の作品は、日本畫の池田蕉園、岡本更園、伊藤小坡、荒木月畝及び無鑑査の上村松園の五女史と、西洋畫の有馬さと江、渡邊文子、井上よし子の三女史の外は、悉く落選の悲運に遇ひましたのは惜しむべき事であります。

◎四日市に鼠疫　去る四日三重縣四日市に鼠疫發生以來、益々猖獗を極め、初發以來已に十五名の患者を出し、之が防壓に努めて居りますが、最早病菌は全市に蔓延して、至る處に有菌鼠を發見して居ります。これが病源の系統は、大阪商船の西貢丸が印度方面より積込んで來た棉花に附着して居たものらしく、之等の棉花は東京市内の各紡績會社に搬入されて居るものとの推察により、警視廳では各紡績工場の消毒を初め、從來惡疫の流行せる本所、深川、日本橋、淺草等の各區へ四萬個の殺鼠劑を配布し、一方捕鼠を獎勵して居ります。

◎村上博士の祝賀會　文學博士村上專精氏は東大文科大學の印度哲學の講師として、就職廿五年に亘るを以つて、十六日小石川植物園に於て、盛んなる祝賀會が催されました。

◎建築界の恩人逝く　長らく神經痛の爲め自邸に加療中なりし正四位勳三等妻木工學博士は十日遂に永眠されました。享年五十八。博士は美濃の人、當時の奉行源三郎氏の長男に生れ、明治十五年大學卒業後米國コルネル大學に留學し、後、英、佛、獨、伊の各國を遊歴して斯道の研究を深め、明治三十八年以來官途に歴任して盡す事が多うございました。吾妻橋、[illegible]橋、永代橋等は氏の設計に成つたもので我國建築界に於て忘る可からざる人であります。危篤の報天聽に達するや特旨を以つて勳三等瑞寶章を授叙されました。

◎花の日會の手筈　來る立太子式當日には華々しき活動をなさんとて、花の日會では菊花製作に多忙を極めて居りますが十二日には、各夫人の花賣り受持ち場所を左の如く定め、當日は是非五十萬の菊花を賣上げんと意氣込んで居ります。

賣場	受持人名
▲上野公園前	（元田夫人、鈴木夫人、金谷夫人、岩瀬夫人）
▲萬世橋	（指原乙子、吉村夫人）
▲日本橋村井森村兩銀行前	（吉田夫人、近藤夫人、富田夫人、佐藤夫人）
▲芝園橋	（戸板夫人外數名）
▲神樂坂	（柘植夫人、仁尾夫人、伊澤夫人）
▲四谷見附	（井手夫人、石塚夫人）
▲九段坂下	（吉岡彌生女史、跡見夫人）
▲茅場町	（長谷川夫人）

尚は嘉悦孝子女史は當日は本部詰めとして服務し、自動車にて各賣場を歴訪されるさうです。

◎東京裁縫女學校の勤續者優待　本郷の東京裁縫女學校にては、來る十一月十日の記念日をトし、教員勤續者に對して、十年以上十二圓、十五年以上十八圓廿年以上二十四圓、廿五年以上は三十圓と云ふ樣にそれぞれ年功加俸を給與し、卅年以上の勤續者ある時は終身年金百二十圓を給與する事に規定し、下田次郎、佐藤球、竹島茂郎、吉村千鶴子の四氏が其の選に當つて居ります。斯の如き計畫に私立の學校では同校が始めてゝ誠に喜ばしい事であります。

◎裁縫教授法に關する研究會　義務教育中の小學校女生徒の裁縫教授に就いて、教授の新レコードを作らんものと、東京高等師範附屬小學校初等教育研究會では明治四十一年度以來、全國小學校の裁縫及び家事科擔任の女教員を集めて、研

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

究して居りますが本年も十四日から十八日迄各縣下より集つた五十餘名が熱心に研究して居ります。

◉**六名の女齒科醫** 今秋擧行した齒科醫師試驗に合格した人々の中、左の六名の女齒科醫があります。片岡すゑ子(三三)茨城縣出身、谷きよ子(三三)東京市出身、福富クニ子(三三)山口縣出身、鈴木とき子宮城縣出身、福田キク子(三三)岩手縣出身、太平かね子東京府下出身。

◉**故女流作家追慕會** 秋雨そゝぐ十五日午後一時から、芝青松寺にてヒヤトリス社主催の故女流作家樋口一葉、大塚楠緒子、瀨沼夏葉女史等の追慕會が開かれました。來會者四十餘名。

◉**四十六年で再會** 明治四年、十六歳を頭に遙々米國に留學した五令孃の名は誰知らぬ者もありませんが、早世した吉益りよう子は別として當時一番の年長者たりし、新潟開港の功勞者上田東作氏の次女、上田敏博士の母堂こう子刀自の令妹、上田てい子刀自は在米一年に充たずして、病の爲めに歸京し、以來四十六年間同航の人々と全く音信を絶つて居りました處、此の程府下高田村四百四番地に、果ない佗住居をして居らるゝ事を耳にしたる津田梅子女史は非常に喜び、瓜生大將夫人の上京の折に、大山元帥夫人と共に刀自を招待して、懐しき昔語りをせんものと樂しんで居らるゝとの事でございます。

◉**本社主催の下穿研究會** 十四日醫學博士土屋岩保氏夫人の好意より、赤坂區田町なる同邸を拜借して、婦人の下穿き研究會を催しました。横濱より高木鐸子女史出張して、同女史の新案になる鳩印安全股引の裁縫、其の他最も工合のよい襁袢の作り方等の教授を受け午前十時より午後五時迄、熱心に各自頭と手とを働らかせました。來會者は八名、なほ今後も折を見て、第二回を開催する筈です。

女學校だより

△**府立第一高等女學校** 十三日創立二十八年の記念式を擧行し、式後明治大帝記念バザーを開き其の賣上の全部を東京市特殊小學校に寄附致しました。

△**双葉高等女學校** 來る廿一日同校内に學藝會を開催する由

△**淑徳高等女學校** 十四日同校講堂に於て大日本女子教育會の主催による第十二回婦人通俗講演會を開き「若き婦人の力」の題下に下田次郎氏の講演がありました。

△**東洋家政女學校** 十二日全校生徒三百名は、調布より一里程隔りたる小村に遠足して、芋掘の競爭をなし、各自其の芋を土產に歸宅いたしました。

△**大阪清水谷高等女學校** 同市は商業都市にあるを以つて、商業取引の實際上の知識と經驗とを得させる爲め、今春來購買部を凡て生徒の手に委せて、實地に就いて研究をさせて居るとの事です。

個人消息

△**穗積晴子**（法學博士陳重氏令孃廿一）文科大學助教授市河三喜氏（卅三）と十五日華燭の典を擧げられました。

△**矢島楫子** 十一日新任各大臣を訪問挨拶を述べらる。

△**林歌子** 大阪の婦人界を糾合して、「母の叫び」として飛田遊廓撤回運動を起して居る同女史は、政府の要路者訪問の爲、十二日上京十三日歸阪せらる。

編輯室より

▲郵便屋がぼさりと重さうに投げ込んで行つたものがある。亞米利加のスタンプが押してあり、英字の傍らに「婦人週報社人事相談部御中」とはつきりと記してある。開いて見ると十數人の金髮美人がズラリと現はれ來たのみで、勿論發信人の名は記してない。▲薔薇がすみれか、何れ「引きぞわづらう」人の、戯れであらうが、遙々太平洋を越して御苦勞樣のことよと笑ふ。▲降り續いた雨も上つて、飽く迄澄み切つた空に、少し色づいた梢がキラキラと光つて居ります。初めて爽やかな秋の氣分が漲つて參つて、嬉しうございます。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有らゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調查、財產調查、男女學生品行調査、裁判上の證據調查等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれには依賴者が至當と想はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社内(電話番町四五六六番)
人事相談所

婦人週報
（毎週金曜發行）

定價表
△壹部金五錢（但し郵送料五厘を含む）
△一ケ月（四部又は五部）金貳拾錢
△三ケ月（十三部）金六拾錢 △半年
（廿六部）金壹圓拾錢 △一年金貳圓廿錢

廣告料
△特等（表紙の二、四） 金參拾圓
△壹等（表紙の三、白紙前付） 金廿五圓
△貳等（色紙の表側） 金廿貳圓
△參等（色紙の內側） 金貳拾圓

注意
▲御註文は一切前金の事▲郵劵代用は必ず一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

發行 編輯 印刷人 東京市京橋區銀座四丁目一番地 小橋三四子
印刷所 東京支店 福音印刷合資會社
發行所 東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

全歐米を驚倒せる一大冒險奇書茲に譯出せられたり!!!

コナンドイル原著
加藤朝鳥先生譯
香田勝太先生畫

名犬物語

■總クロース美本
■紙數四百數十頁
■全譯全一冊
■定價九十五錢
■郵送料八錢

教科書以外の絶好讀物＝家庭團欒の好伴侶

世界讀書界を席卷せるシヤロクホルムス譚は「名犬物語」に到つて複雜の極致となる。ホルムスが古今獨步の手腕を振ふ此の度の對照は妖魔か實在の賊か、人類學者出で博物學者出で、訴訟狂出で、美人出で、脱獄者出で、全篇四百頁悉く錯綜又錯綜、科學的精緻に加ふるに一種妖魔の如き鬼氣絶えず漲り漲りて、讀者は恍惚として幻惑の境に慓然として全身の粟立つを覺え、而も快然として卓を叩きつゝも衷神絶え入る如き感に打たるべし。而して卷終らんとするや名犬!!! 名犬!!! そもそもいかなる名犬が飛び出るぞや。

コナンドイル原著
加藤朝鳥先生譯

全譯 シヤロックホルムス 全三卷

四六判洋裝美本
定價各七十錢・郵送料八錢

世界に於ける最も面白く且つ有名なるドイルが探偵小説中、特に「シヤロツクホルムスの冒險」と題せられ歐米讀書界を風靡せるものゝ全譯なり。江湖の高評湧くが如く忽ち賣切れ茲に三版成る。

東京市牛込區神樂町二丁目二十二番地
天弦堂
振替口座東京二九五五九番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察 月、金、木午前及(木)午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ヶ谷見附内）
電話番町 六二番

東洋内科醫院

院長 醫學博士 **高田畊安**

電話ちがさき二番

南湖院

神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察 土曜日 午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

クリーニング

は一滴の水を用ゐずして如何なる汚れも殆んど**新調**同様になります

和洋服**外套インバネル・セル・ショール**東コート

牛襟毛皮等のクリーニングと染色を**丁寧親切**迅速に致します

○局部シミヌキ
○御一報次第參上

各國大公使館
帝國ホテル御用

日比谷クリーニング商會
日比谷公園停留場際
電話新橋三一〇八

古本 **高價に買受**ます
御一報次第何時にても參上します
牛込區早稻田鶴卷町百十一
文學堂書店
電話呼出番町九四一

產科、婦人科、小兒科
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
女醫 **井出茂代**
電話番町三六七七番

内科 小兒科 **第一家庭病院**
院長 醫學士 **加用信憲**
（入院隨時）
牛込區矢來町二十四番地
（電話番町二八〇一）

◎**產婦人科**◎**小兒科**
宅診午前 往診午後
病室、產室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長 女醫 **吉岡彌生**
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
電話番町 二三五七
東京至誠病院

料理講習會
會席料理 毎週土曜日午前中 東修五十錢 會費一回卅五錢
西洋料理 毎週月、金午前中 東修五十錢 會費一回五十錢（主として主婦の爲）
外に主婦以外の婦人の爲
毎週水曜午前中開催
會費一回五十錢東修五十錢
本郷區彌生町三番地
電話下谷六八一五番
櫻井女塾

生徒募集

裁縫。刺繍。造花。編物。袋物。摘み細工。綿細工。壜細工。縫細工。儀式用折紙。水引結方。
（以上短期卒業）

（東京市麹町區靖國神社右横）
私立 **大妻技藝學校**
（舊名）大妻技藝傳習所

其他別科生は月謝免除。材料貸與。二科目選定。三ヶ年卒業。二學年生より製作品に對しては工賃を支給す。卒業の上は教師として採用又は紹介す。
（詳細は規則書郵券二錢を要す）

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

面目一新

十一月號の美しい出來榮を御覽下さい

新少女

定價金十二錢
半年税共七十二錢

新少女愛讀者 **武藏野遠足會**
三宅理學博士 武藏高女教諭 指導
期日 來十月廿二日

神樣は有るか無いか
誌上討論會 審判者 羽仁もと子

寫眞小說 **投書の出るまで**
酬はれたきみ子さんの苦心、起稿より入賞までの實寫

犬がものを言ふなら**聞いて見たい事**
無邪氣なる少女數十名の手に成る感想文

少女科學 **何故でせう?**
日常眼前の疑問に平易にして趣味ある解釋を與ふ每號連載 堀高師教諭

火中に身を投じて**三兒**を救へる**少女**
世界歷史物語 松本雲舟

東京雜司ケ谷 **婦人之友社** 振替一一六〇〇

肝油服用者之福音

最新式の軟質膠球劑絕對に臭氣もなく美味に飲めるは此肝油球である

三百球入 貳圓
百球入 七十錢
五十球入 四十錢
送料各八錢

諸大醫の賞讃

肝油球の特効

- 身體の弱き人
- かぜ引き易き人
- 腺病の人
- 夜盲の人
- 冷え性の婦人
- 肺の惡しき人
- 貧血にて艶のなき人
- 油氣の少ない人

發賣元 東京市赤坂區田町五ノ一
工場 東京赤坂新町三ノ三十二
藥劑師 富谷宗吉藥局
電話芝六二八〇番
振替東京七〇八一番

體力精力增進に今が肝油服用時期

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御料

御園白粉

みそのおしろい

御園白粉及御園化粧品は御料に召させ給ふ本邦唯一完全高貴御化粧料にして專ら實質本位の製法に苦心を重ね取分け皮膚の衛生に留意し容器及體裁を飾らず一切の冗費を白粉其物に集中し弘く化粧界に貢獻せん事を期せり。

御園白粉は純無鉛製にして殺菌消毒を施したれば安全此上なく永久の保存と陽氣の變遷に堪へ効能の變る事無く濃淡自在乘りよく伸びよく斑點なく附き肌を透して自然の生彩を現はす事化粧界の記錄を破りたる模範品なり。

ねり紫 御園白粉
水白粉 御園の月
粉御しろい 御園の花
高うち水粉 御園なでしこ
濃厚化粧水 御園四季の花
高等化粧水 御園の露
濃化粧おしろい下 御園の蕾
洋式化粧下 御園クレーム
高等洗香水 御園香精
白化粧香水 御園の橘
高等洗髮水油 御園香油
高等はみがき 御園齒磨

製造本舖 伊東胡蝶園
發賣元 丸見屋商店

發行所 東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA